

古石篤子研究会では2010年度に横浜市立つつじが丘小学校において「多言語活動」を実施しました。フランス語・中国語・朝鮮語・日本手話の4言語について、2回+1回(選択制)の授業を行いました。子どもたちのことばに対する多様な感覚を養い、来るべき多言語・多文化社会において他者を尊重できる態度を育むための、英語に限定されない「多言語活動」の実践をご紹介します。

成果

### 好きな国を「日本」と答えた児童数

状況	割合
Before	40.38%
After	27.27%

多文化に寛容になる  
脱・自文化中心主義

すべてに共通して学ぶことができたのは、「相手に伝える大事さ」です。英語が使えないでも耳が聞こえます。英語が使えないでも耳が聞こえます。英語が使えないでも耳が聞こえます。英語が使えないでも耳が聞こえます。英語が使えないでも耳が聞こえます。英語が使えないでも耳が聞こえます。

多言語活動をやったおかげで「はじめて」をたくさん知ることができます。

自分の普段使っている言葉以外にもたくさんの言葉があって、同じ国でも自分の全く知らないような言葉があってすごいと思った。

最初の方は興味しかなかつたけど、とちゅうから「言葉の大切さ」が分かってきたと思う。

いろいろな言葉を習ったけれど、日本語は覚えるのが大変だなあと思った。同じ地球の上に住んでいるのにこんなに言葉がちがうのは不思議だなあと思った。

子どもたちのコメント

“先生”たちのコメント

今まででは、文化や食べ物などの違いや共通点などからその国を理解する方法でした。しかし、言語を通して文化などを学ぶことによりまた違った異文化理解につながったような気がします。「その国の人と会話したい」という願いをもった児童も見られ、これについては私自身初めての反応でした。(つつじヶ丘小・教員)

とーっても楽しかったです!! 準備は大変でしたが、つくった教材を使って小学生に「教える」という経験が、私の中で“革命”を起こしました。小学生の気持ちになって考え、授業を進めました。すると子ども達は、私達が伝えたことをどんどん推測し、吸収し、声に出し、体を動かし…という様に、体に入って行く様な感覚が、とても不思議だったと同時に、責任感と、子ども達に変化を与えることの喜びを感じました。今回の経験を通して、更に教育について学びたいと思い、今年度から教職課程を履修しています☆ (古石研・学生)

「アラジンの魔法のランプ」  
ディズニーのアニメもフランス語で  
見ると感じが変るよ



グループ対抗 あてっこゲーム  
「大学生のお姉さん達、教えて！」

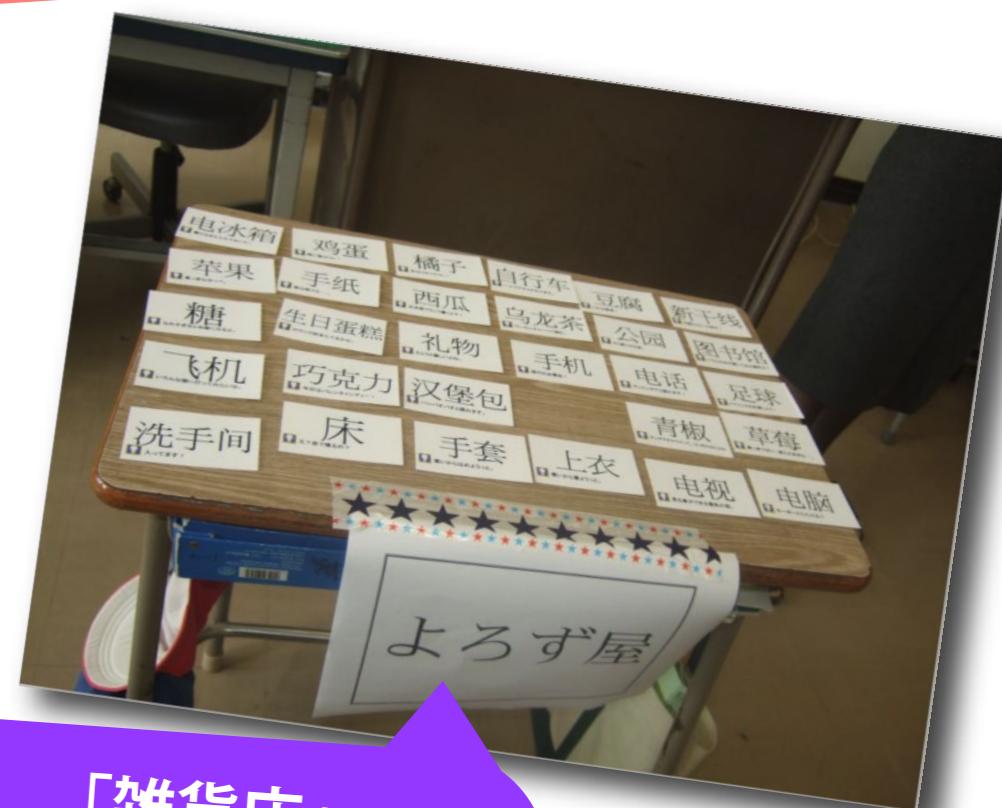
中国語の「開始」は日本語  
そのままの発音じゃ通じないよ！



グループ対抗 あてっこゲーム  
「Devinette ~あててごらん~」



「よろず屋」 中国語で買物を  
しよう。「手紙」ってなあに？



「雑貨店」  
欲しいものは？



手話の時間には通訳さんが同伴



韓国の「ウンノリ」（ゲーム）



先生と日本手話で会話  
「自分の名前を言おう」

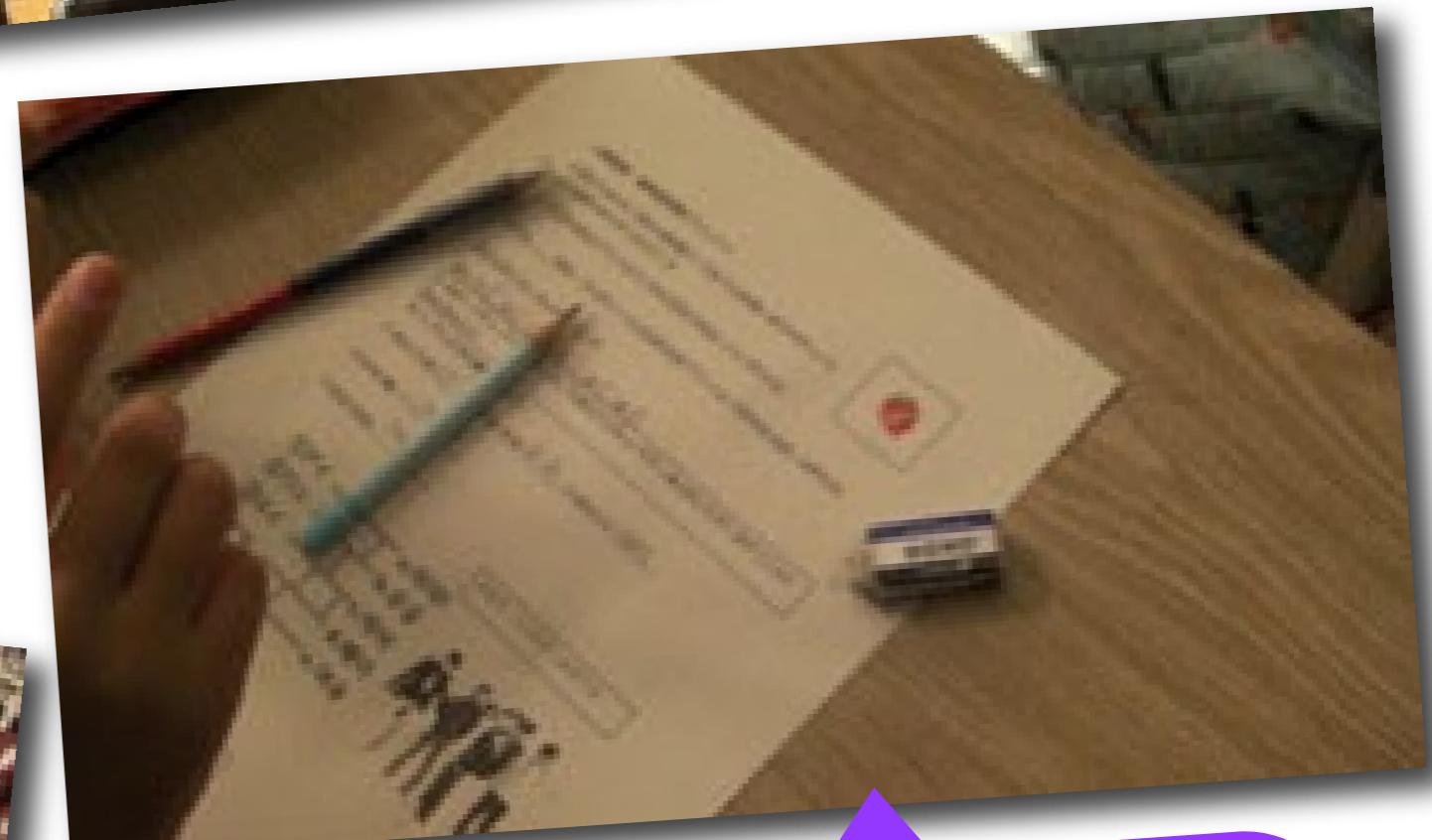
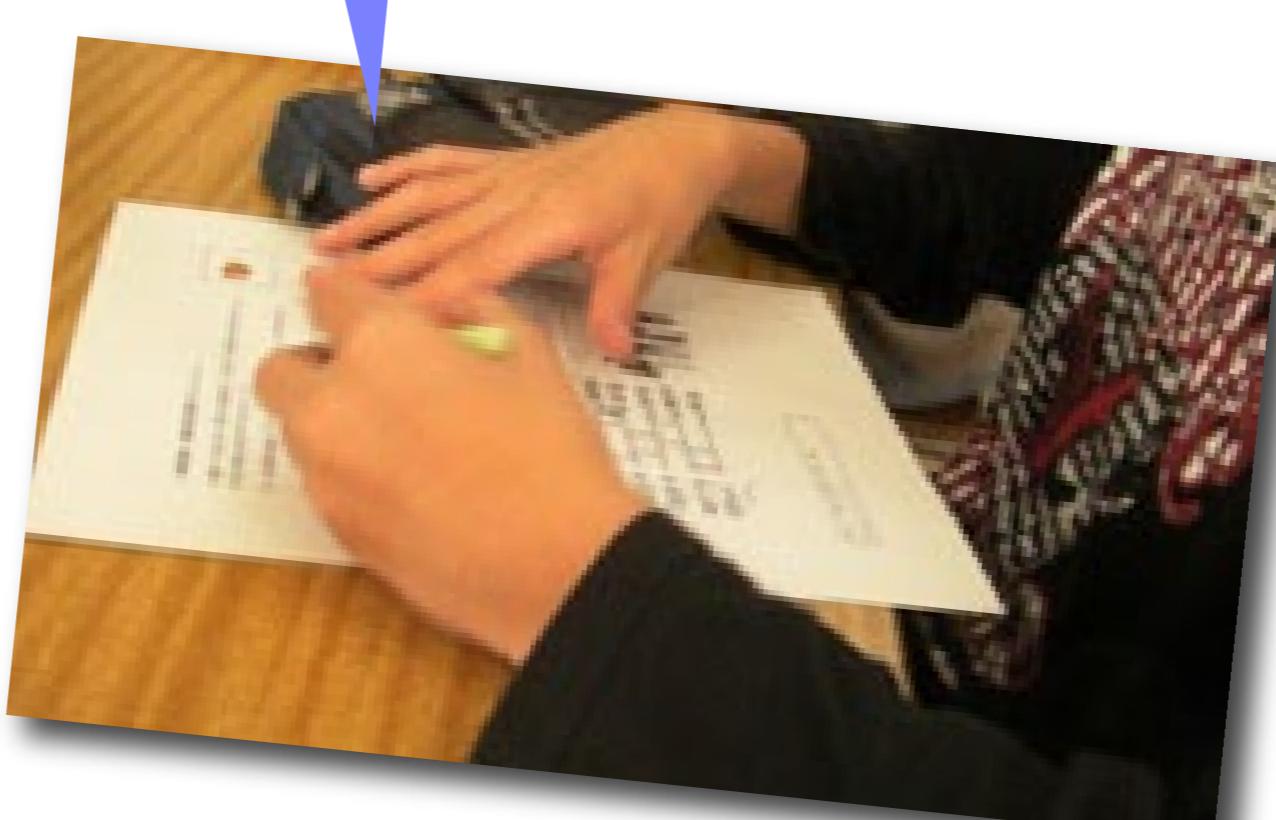


朝鮮語＝韓国語の「アイ」はどんな  
文字？意味は？（電子黒板で勉強）

体で覚えようハングル文字



がんばってやろう。  
ハングルで日記を書くと  
誰にも読まれないよ～



ハングルが使えるよ！  
合格するとシールがもらえる。